

第 20 回 放送番組審議会議事録

平成 29 年 3 月 16 日

株式会社シーエス・ワンテン

株式会社テレビ朝日

1. 開催年月日 平成 29 年 3 月 16 日 木曜 午前 10 時 30 分～12 時 00 分

2. 開催場所 株式会社テレビ朝日本社 8 階 特別会議室

3. 委員の出席

委員総数 8 名

出席委員数 8 名

出席委員の氏名

委員長 池井 優 (慶應義塾大学名誉教授)

委員 石田 則明 (無線システム研究所 代表)

委員 黒鉄 ヒロシ (漫画家)

委員 高木 美也子 (日本大学総合科学研究所 教授)

委員 戸張 捷 (株)ランダムアソシエイツ 代表取締役)

委員 丹羽 美之 (東京大学大学院 准教授)

委員 藤田 興彦 ((公財)児童育成協会 理事長)

委員 元村 直樹 (早稲田大学 基幹理工学部 講師)

放送事業者側出席者氏名

株式会社シーエス・ワンテン 代表取締役社長 福田 泉

業務推進本部長 渡辺 慎一

株式会社テレビ朝日 総合編成局編成戦略部長 清水 克也

編成戦略部統括担当部長 吉川 大祐

編成戦略部 柿野 陽

C S 事業部 C S 編成担当部長 谷 俊之

C S 事業部 小菅 聰之

4. 議 題

「テレ朝チャンネル1 ドラマ・バラエティ・アニメ」、
「テレ朝チャンネル2 ニュース・情報・スポーツ」の番組について

5. 議事の概要

- ・事業報告
- ・編成説明
- ・番組審議

「テレ朝チャンネル1 ドラマ・バラエティ・アニメ」課題番組の審議

『AKB48チーム8のあんた、ロケロケ！』

「テレ朝チャンネル2 ニュース・情報・スポーツ」課題番組の審議

『スポーツシンフォニー～ウィルチェアラグビーのミカタ』

6. 審議内容

①シーエス・ワンテンの事業報告

- 110度CS放送の加入者状況について、全体の加入者状況は厳しく、205万件を超えたところで推移している。3月になると野球パックに加入する人が増えるため、例年通りだと6万件増える予定である。現在205万件なので3月末で211万件を想定している。前年(2016年)3月は219万件なので約8万件の前年割れになる。これまで右肩あがり推移していたが、今年度初めて純減で年度末を迎える厳しい状況である。
- 1月末でスカパーとJリーグとの契約が切れ、5万件以上の解約が発生したことが純減の一因である。それ以上に他に「Hulu」「Netflix」「AbemaTV」のようなインターネット系映像サービスの台頭も影響している。全体としては有料放送への影響が出始めたのが今年度の総括である。
- 主力商品「新基本パック」は月額3,670円で47チャンネルを視聴できる。ニーズが減ってきており月によって変動はあるが現在はおよそ77万件。
- 「セレクト5」は月額1,980円で5チャンネルを選ぶことができる。商品発売以来、堅調に加入者を伸ばしている。
- スポーツなどのライブ感のあるものがテレビの中でも需要が大きくなっているため、普段のプロ野球よりも大きな視聴率をとれるところから番組内容を精査した中で発展の余地はあると考える。

②テレビ朝日CS事業部の事業報告

「テレ朝チャンネル1 ドラマ・バラエティ・アニメ」

- ケーブルテレビ等を含めた契約者数は1月末時点で約520万件。昨年同月より約12万件の純増である。
- ケーブルテレビを中心に順調に伸ばしている。
- テレビ朝日地上波放送と連動したバラエティ番組、音楽ライブコンテンツなどを充実

させオリジナルバラエティ番組を強化し、加入者の増加を目指す。

「テレ朝チャンネル2 ニュース・情報・スポーツ」

○ケーブルテレビ等を含めた契約者数は1月末時点での約561万件。プロ野球放送がなくなった。大手IPTV局の選局から外れ昨年同月より約69万件減したが、2017年3月に復活し約72万件増を見込んでいる。

○プロレスや世界水泳、フィギュアスケート、体操など地上波、BSと連動した3波一体を有効に活用したスポーツ事業を推進して新たな視聴者を獲得する。

③テレ朝日編成戦略部の報告

4月編成について

「テレ朝チャンネル1 ドラマ・バラエティ・アニメ」

○ファミリー層向けの番組の強化のため平日の16時半から18時まで地上波で日曜朝に放送している人気番組を編成した。

○アイドル番組などコアなファンに向けてのコンテンツを単発で編成している。

「テレ朝チャンネル2 ニュース・情報・スポーツ」

○地上波で人気の「人生の楽園」平日18時台に新たに編成した。

○コアなファンに人気の「水曜どうでしょう」「特命係長 只野仁」を木曜22時に編成した。

○フィギュアスケート、プロレスといった加入につながる強いコンテンツを単発で編成している。

○最近プロレスが再び好調なのは人気レスラーが出てきたのが大きな要因。

◆テレ朝チャンネル1 ドラマ・バラエティ・アニメ

『AKB48チーム8のあんた、ロケロケ！』 番組審議◆

番組概要：

▽ケータイ放送局NOTTVで人気No.1番組「AKB48のあんた、誰？」から派生したAKB48チーム8初となる冠番組！「会いに行くアイドル」チーム8が「普段なかなか会えないモノに会いに行く」をコンセプトに、全国各地でロケを展開！2016年6月、NOTTVサービス終了を受けて惜しまれながらも第1シーズンを終了した「あんロケ」が、満を持して「第2章」として復活した“地域密着型バラエティ”です。

▽この4月で“結成3周年”を迎える、遂に「さいたまスーパーアリーナ」での単独コンサートをするまでに成長してきた“チーム8”。メンバーは、全国47都道府県で開催された全国一斉オーディションによって、各都道府県から1人ずつ選出された47名で構成されています。

＜番組内容＞#2

▽「会いに行くアイドル」が普段なかなか会えないモノに会いに行く！！「新潟県」～後編

(2話で1つの県を巡り、必ずご当地出身のチーム8メンバーが参加します。)

▽メンバーに「前代未聞!? 予告寝起きドッキリ」を通達! 爆笑ネタは不要…いかに可愛いネタを織り交ぜて「寝姿」を見せるのかがお題だったが…まさかのハプニング連続でなんとマジ寝続出!?

▽「新潟の美味しいおにぎり」に会いに行こう!! で、あのご当地アイドル(新潟米をPRするために結成された農家アイドル 平均年齢70代(推定)の笑顔が可愛い“新潟ライスガールズ”が登場!!

＜出演者＞

▽AKB48チーム8 佐藤栞(新潟県代表)・岡部麟(茨城県代表)・小栗有以(東京都代表)

▽トップリード(お笑い芸人)ほか 新潟県のみなさま

〈委員意見〉

○コンパクトにまとまっていて良かった。

○AKBグループの人数が増えすぎてよくわからないが、コアなファンを狙う番組としては良いと思う。

○「結婚します」と言いながら市場で物をねだるのは、見方によっては公序良俗に反するのではないか。

○画面の中で出演者が楽しんでいる様子と視聴者に温度差があると引いてしまう。

○地元を紹介するなら、その県出身のメンバーがリードすべきではないか。地元メンバーも他のメンバーも似た立ち位置なのは疑問に思った。

○ご当地の情報も含まれ、現地の人との交流も生まれていて良かった。

○番組自体は良くできていると思った。

○逆に、構成がしっかりしすぎていて、ハプニングや意外性がなかったように感じてしまったのは残念。

○彼女たちが本気になる瞬間が見えるとより面白くなるのではないか。

○視聴者ターゲットを誰に向いているのか、より意識した番組作りが良い。

○新潟ならではのローカル色をもっと出しても良かったのではないか。

○事前に予告する寝起きドッキリは面白さが分からなかった。

◆テレ朝チャンネル2 ニュース・情報・スポーツ

『スポーツシンフォニー～ウィルチェアーラグビーのミカタ～』番組審議◆

番組概要：

パラリンピックなどで耳にする「車椅子バスケ」「ウィルチェアーラグビー」「ブラインドサッカー」…。数多く存在する「障害者スポーツ」ですが、実際にその競技を観戦する機会が無かったり、“ルールも良く知らない”という方が多いのではないか。そこで番組では毎回ひとつの競技を取り上げ、ゲストをお招きして「ルール」や「歴史」、

さらにその競技でアスリートを支える「道具」などに関するわかりやすく徹底解説します。

～ウィルチェアーラグビーのミカタ～

昨年のリオパラリンピックで見事銅メダルを獲得したウィルチェアーラグビー。

四肢に障がいのある者が車椅子で行う国際的なスポーツです。

ルールではタックル（相手の車椅子に自分の車椅子を衝突させること）により相手の攻撃や防御を阻止することが認められており、当初はその競技の激しさから「マーダーボール（MURDERBALL（殺人球技））」と呼ばれていた歴史があります。

今回は、日本代表の官野一彦さんと、同じく日本代表の今井友明さんが所属する「RIZE 千葉」の協力の下、タレントの水野裕子が、ルールや試合を見るときのポイント・面白さを、体験を通じながら教わり、分かりやすくお伝えします。

＜出演者＞

水野裕子（MC）

RIZE 千葉所属選手

〈委員意見〉

○地上波で放送しても良い程の番組だと思った。

○MCの水野さんが実際に体験するところが良かった。

○パラスポーツの番組は表面的なものが多いなか、費用や音、衝撃の強さなどについてしっかりと紹介していて興味深かった。

○選手の前向きな姿やサポートする人への感謝などヒューマンな部分も良かった。

○激しく車いすがぶつかり合う音が凄いというコメントがあったが、「現場の音」があまり伝わってこなかったので、それを感じられるような映像と音の工夫があればより良かった。

○ウィルチェアーラグビーを知らない人にもわかりやすい番組だった。

○ルール説明も細かくてわかりやすかった。

○障がい者スポーツを発展させるためにどうしていけば良いかが課題。

○プレーできる体育館などどのくらい環境が整っているのか、またやってみたいと思った人がどこに行けばいいのかなど説明があれば、今後番組として広げていけるのではないか。

○障がいの度合いによってどのようにルールに違いがあるのか疑問だったが、細かく説明されていて良かった。

○いつどのようにはじまったのか歴史の説明があったほうが良かった。

○障がい者だけでやるのではなく、健常者が参加できるアイデアもあれば良い。

○障がい者だから助けなければならないといった義務感が出てしまうと、見ようという意識が長続きしないので、楽しんで見られるところを見つけていかなければと思った。

○用具や遠征費用など財政面の苦労についての説明があればもっと良かった。

7. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置その年月日

今回の審議会に出された意見については、審議会が開かれた平成 29 年 3 月 16 日以降、各番組のプロデューサー、担当者へのフィードバックをはじめ、番組制作会議等で活用し、更なる番組の向上のために適切な措置を講じるよう努めています。

8. 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法、及び年月日

平成 29 年 4 月以降に、ホームページに審議会概要を掲載、公表する予定です。

9. その他の参考事項

次回の放送番組審議会は平成 29 年 9 月に開催予定です。

以上